

息抜きの散歩道

ライブラリサポーターになろう！

250文字ブックレビュー

情報検索を
使ってみよう！映像コーナー
リニューアル

貸出ランキング

LCセンター
利用のコツ

特集 ライブラリサポーターになろう！

LCセンターでは多彩なイベントを開催しています。その企画立案・運営を担うのは、学生による図書館ボランティアチーム「ライブラリサポーター」です。今回はその活動について、ご紹介します。

その1 誕生

2013年募集を開始。手さぐりのスタートでしたが、企画の運営、LCセンターへの提案など活発に活動。他大学からの見学もあり、交流を深めました。現在は男女4名で活動しています。



初代メンバー
緊張の3人...

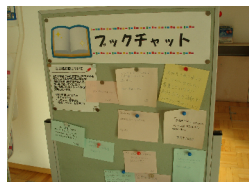
その2 ライブラリカフェ

本学の先生を講師に迎え、研究テーマや裏話について、コーヒー片手に語り合う企画です。サポーターは、テーマの提案、先生との交渉、広報、当日の司会進行や撮影などを担当しています。



その3 ブックチャット

「本について語り合う【掲示板】がほしい」。サポーターの提案から生まれたのが、ブックチャットです。LCセンター入口で、みなさんのおすすめ本のペンネームもOK！投稿おまちしています！



ペンネームもOK！

書店の店頭で、実際に本を手にとって、LCセンターの図書を選ぶ企画です。サポーター5名が選書した図書は、特集展示で、おすすめコメントとともに紹介しました。

その4 選書ツアー



どの本を選ぶか
迷うなあ...

いかがでしたか？ライブラリサポーターに興味がある方は、ぜひLCセンターのカウンターにお声がけください（応募用紙をお配りしています）。見学、お試し活動も大歓迎！本学の学部生、院生の方なら、学科・学年不問です。みなさまのご応募、お待ちしております！

ライブラリサポーターのオリジナルHP「[星空のしおり](http://nit-library.esy.es/)」では、活動報告や日記などを公開しています。サポーター志望の方は参考にしてみてください！

<http://nit-library.esy.es/>

開館カレンダー

2016年 4月 April						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

3日：入学式 7日：授業開始
29日（昭和の日）：閉館日

5月 May						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3～5日（祝日）：閉館日
27日：学生総会/通常開館

6月 June						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4日：体育祭/授業日 29日（学園創立記念日）：授業日

7月 July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

18日（海の日）：補講日 21～29日：春季試験

通常
短縮

通常開館日
短縮開館日

9:00～20:30
9:00～17:00

午後
閉館

午後開館 13:00～17:00
閉館【日曜日・祝祭日・本学休業日】

250文字 ブックレビュー

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、
どんな本を読んでいるのでしょうか？

先生のオススメ本から、新たな扉、開いてみませんか。

『人生を面白くする本物の教養』 出口 治明/著 幻冬舎社/刊



戦後の高度成長期の日本の職場においては、大学で何を勉強したかや、教養はほとんど問われないで、極端には、何も考えないで言われた通りに働いてくれればいいという雰囲気があった。高度成長が期待できない上に、グローバル化が進んでいる今日においては、行き詰まりをブレイクスルーするオリジナリティ、様々な相手を惹きつける面白さ、人間的魅力、自分の頭で考える力などの教養力が求められている。本書は、そのような教養力の重要性や、それがどのようにして身につけられるかについて例を挙げながら述べている。

梅崎 栄作 (機械工学科)

『アルゴリズムが世界を支配する』 クリストファー・スタイナー/著 角川書店/刊



機械学習などの人工知能技術がさまざまな分野で使われていることは知られているが、そのあたりの状況が詳しく解説されている。ウォールストリートを舞台にした金融取引の話は緻密な描写で引き込まれる。ヒット曲を見つけるアルゴリズムをはじめ、映画やNASA、コールセンター、医療、ソーシャルネットワークなど各分野でのエピソードが非常に面白い。また、アルゴリズムの歴史を解説した章では偉大な数学者たちの話が興味深い。今後も優れたプログラムコードやアルゴリズムを構築できる人材が引く手あまたとのことで、若いみなさんの活躍を期待したい。

高瀬 浩史 (情報工学科)

『スタンフォード大学 夢をかなえる集中講義』 ティナ・シーリグ /著 CCCメディアハウス出版 /刊



起業をするには情熱が必要というのは間違っていると断じる序文にまず驚かされる。情熱とは行動を結果になんらかの感情が生まれたからこそ、情熱を育むことができるのだと。スタンフォード・テクノロジー・ベンチャーズ・プログラム責任者の著者は、好奇心を持つところから始まるひらめきを形にするための具体的で明確なロードマップを示す。好奇心→想像力→クリエイティビティ→イノベーション→起業家精神の発揚と拡大するインベンションサイクルは、具体的な10個をテーマと28の課題を行うことにより、読者の隠れた才能を開花させてくれることだろう。

大島 康彰 (機械工学科)

『相手を必ず納得させる「わかりやすい説明」のテクニック』 大嶋 友秀 /著 永岡出版 /刊



あなたは自分の考えを相手にちゃんと伝えることができますか？会話中、自分の発言が違う意味に解釈されていると思ったことはありませんか？相手にものごとを伝えるときに重要なのは、相手の立場に立って、わかりやすく説明することです。これを怠ると途端に伝わらなくなります。大学では自分の考えや研究をプレゼンテーションすることが多くなります。また就職活動においても自己アピールが求められます。この本は自分の言いたいことを相手に伝えるテクニックが満載です。ぜひ、会話スキルを上げて、スマートな会話ができる人になりましょう。

福田 めぐみ (創造システム工学科)



メタルカラーとはホワイトカラーやブルーカラーに対して、エンジニアを総称して呼ぶ造語である。日本のモノづくり現場では様々な技術・製品が生み出されているが、画期的な製品を生み出しながらも目の目に当たることの少なかったエンジニアは数多い。本書はノーベル賞受賞者との対談や、町工場にて独創的なアイデアで製品を開発したエンジニアとの対談などをまとめたインタビュー集である。モノづくり現場のエンジニアたちの生きた言葉から多くのことを学ぶことができる。本書はシリーズの最終巻であるが、是非第1巻から読んでほしい。

竹村 暢康 (電気電子工学科)



せっかく工学部にいるのだから、色んなものを作ってみたいですよね。とは言え、何を作ったらいいのかわからない！ということもあると思います。そんな時、灰色の脳細胞に鮮やかな刺激を与えてくれるのがこの本です。ダンボール、紙、ワイヤー、粘土といった手軽な工作材料から、電子回路、センサー、スピーカー、コンピュータといった電子機器を縦横無尽に組み合わせ、ロボット、いきもの(らしいもの)、楽器や、何だかわからないものを作る方法を紹介しています。写真がたくさん掲載されているので、眺めているだけでも楽しいですよ。

大橋 裕太郎 (情報工学科)



昭和8年の随筆で今になっても色が褪せない名作。建築、和紙、食器、食事、舞台、女の肌、といった幅の広い話題を挙げ、西洋との違いを比較しながら、日本の伝統的な美意識を論じた。電燈がない時代、日本座敷の美は陰翳の濃淡によって生まれ、庇の奥にある砂壁に当たる繊細な明るさに見飽きないという。「闇」の中で、漆器、白飯、女の肌等が引き立てられ美しく見える。西洋ではランプからガス燈に、ガス燈から電燈にと、絶えずに明るさを求め、陰の払い除けに執着するが、日本では陰翳の作用を離れて美がないほど、陰翳の世界を作る。

徐 華 (建築学科)



「なぜ子供は学校に行かねばならないのですか」という問いかけにどう答えますか？じつはこれ、社会制度に対する問いではなく自分自身への問いに帰結します。少年時代に太平洋戦争を経験した著者は、噂に流されることなく自分で深く考えることの大切さを静かに語ります。壁にぶつかったときに立ち返る場所を心に持っていれば、周囲が変化しても流されず、困難にも柔軟に対応できるでしょう。ちなみに最初の問いに対する著者の答えを要約すると、自分を理解し他の人とつながる「ことば」を学ぶため。あなたの答えはどうか？

山中 章子 (共通教育系)



先日、千冊ほどの蔵書を売却した。並んだ書籍を見て、我ながら薄っぺらな読書歴だなと思った。なるほど底の浅い人間が出来上がるはずだ。かつて筆者の書棚を覗いた友人に「なんか新刊書ばかりだね」と言われ、恥じ入ったことなど思い出す。貧弱な蔵書に相応しい売り値だった。なかに、つかこうへいが何冊かあった。古本屋を待つ間、拾い読みしているうちに、つかに熱中した学生の頃に思いは至る。つか劇団の本拠地・紀伊国屋ホールのある新宿の雑踏が懐かしい。筆者の大学生活は1969—1972。思い出したくもない、だけど、青春。

匿名希望

LCセンターから

情報検索を使ってみよう！

「忙しくて、LCセンターに行く時間がない……」
「がーん！休館日だった」

そんなときは、LCセンターホームページの「情報検索」をご利用ください！電子書籍、電子雑誌、新聞などを、来館せずに読むことができますよ。



学内LANに接続された端末から利用できます。カウンターに接続マニュアルを用意していますので、気軽に声をかけてくださいね。

映像学習コーナーがリニューアル！



新たに55インチの大型モニタを導入しました。再生デッキではDVD、ビデオに加え、ブルーレイの視聴もできるようになりました。映画やドラマはもちろん、アーティストのライブやナショナルジオグラフィックのシリーズなどのノンフィクションも取り揃えています。、授業の空き時間などにぜひご利用ください。

貸出ランキング

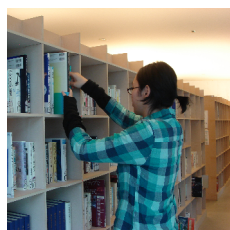
集計期間：2015年 10月1日 ～ 2016年 3月31日

- 1.フィードバック制御入門 / 杉江俊治, 藤田政之 共著 / コロナ社 (8回)
- 2.シーケンス制御工学：新しい理論と設計法 / 電気学会通信教育会 著 / オーム社 (7回)
- 3.図解シーケンス制御の考え方・読み方：初歩から実際まで 第4版 / 大浜庄司 著 / 東京電機大学出版局 (7回)

アルバイト院生の声

LCセンター
利用のコツ
教えます！

機械システム工学専攻
2年 辻 香南



LCセンターにはたくさんの本、自由に利用できるPCが置いてあります。本の検索システムや論文などを調べることのできるデータベース、自動貸出機があるので借りるのも簡単です。わからないことがあっても職員の方が優しく対応してくれます。カフェや映画を見ることができる映像学習コーナーがあり、勉強や本を読む以外でも利用することができます。ぜひ1人でも友達とでもどんどんLCセンターを利用してください。

『青塔』春号を発行しました。

春号は、大学生活や研究テーマ、本学での思い出などを、退任の先生方を中心にご寄稿いただきました。LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。リポジトリ公開中です。

